

## 「2002年度 内定状況及び採用活動に関するアンケート」

## 主な調査結果ピックアップ

## 【採用充足率】⇒3P

全体で87.5%と昨年比で3.1%の上昇。「上場・店頭公開企業グループ」と「未上場企業グループ」で充足率の差が若干縮まった。また、「製造業グループ」より「非製造業グループ」の伸びが目立つ。

## 【採用満足度】⇒4P

採用満足度は、「質」に対する満足度が低下。特に「上場・店頭公開企業グループ」で「質は不満・量は満足」の回答が昨年比10.8%増と大きく上昇。また、採用を抑制した「製造業グループ」でも「質は不満」とする回答が5%近く増加、学生の二極化傾向が浮き彫りに。

## 【学生の印象】⇒6P

学生の能力に対する印象では、「コミュニケーション能力」が文系学生では最も高く5割を超えたが、理系では「最も低い」能力のトップに挙げられた。一方、理系学生の最も高い能力は「基礎学力」という結果に。また文理学生に共通して「高い」能力は「情報収集力」。パソコンやインターネットの普及した情報化社会に育ち、培われた能力と言えよう。

## 【採用活動の印象】⇒8P

昨年と比較しての採用活動の印象では、「厳しかった」の回答が7割超。厳しかった理由としては「学生の質の低下」、「母集団の確保」が多く挙げられた。

## 【採用活動進捗状況】⇒9P

7月中旬時点で「採用終了・ほぼ終了」の回答は院生の78.6%を最高に、各カテゴリーで軒並み昨年より増加、採用活動の早期化がさらに進む。

## 【採用費】⇒14P

今年度の平均採用費は890.4万円と昨年から117.8万円の大幅ダウン。特に「未上場企業グループ」で19.1%(134.2万円)、「非製造業グループ」で17.5%(178.2万円)の大幅削減で、過去10年間(非製造業は過去9年間)の最低値に。また、すべてのグループで採用に関する広告費は減少し、全体で-11.1%(61.1万円)となった。

## 【採用情報公開の時期】⇒15P

2003卒向けの採用情報を2001年内から公開した企業は、全体の68.3%(昨年比+1.0%)。「上場・店頭公開企業グループ」では84.4%と、実に8割以上の企業が年内に情報公開している。

## 【学生からのエントリー受け付け経路】⇒16P

学生からのエントリー受け付けにインターネットを活用している企業は、全体で9割以上に達した。特に「上場・店頭公開企業グループ」では98.7%とほぼ全ての企業に。また「エントリー経路はインターネットのみ」という企業は全体で50.4%と半数を超える数字となった。

## 【本調査に関するお問い合わせ先】

株式会社毎日コミュニケーションズ 企画推進課  
TEL03(3222)7882/FAX03(3222)9699/E-mail:kikaku@mycom.co.jp

## 「2002年度 内定状況及び採用活動に関するアンケート」

### ● INDEX ●

■ 調査概要	.....	—	2 P
■ 採用充足率	.....	—	3 P
■ 採用満足度	.....	—	4 P
■ 採用満足度過去5年間の推移	..	—	5 P
■ 学生の印象	.....	—	6 P
■ 採用基準	.....	—	7 P
■ 採用活動の印象	.....	—	8 P
■ 採用活動進捗状況	.....	—	9 P
■ 今後の採用活動①	—継続予定時期—	—	10 P
■ 今後の採用活動②	—採用スタンス—	—	11 P
■ 今後の採用活動③	—不充足時の対応—	—	12 P
■ 内定辞退率の昨年比増減	.....	—	13 P
■ 採用費	.....	—	14 P
■ 採用情報公開時期とツール	...	—	15 P
■ セミナー開始・内々定出しの時期	.....	—	16 P
■ エントリー受け付け経路	.....	—	17 P
■ 導入している採用手法・形態	..	—	18 P
■ 内定者フォロー	.....	—	19 P

### ● 質問内容 ●

- 1) 7月15日時点での募集人数と内定者数をお書き下さい。  
【上記回答を元に採用充足率を算出：算出方法については下記参照】
- 2) 7月15日時点での採用満足度をお答えください。  
①「質・量とも満足」②「質は満足・量は不満」③「質は不満・量は満足」④「質・量とも不満」から選択＋自己評価点
- 3) 今期の学生の印象について全体的に能力が高いと思われたものを2つ、能力が低いと思われたものを2つお選び下さい。  
①コミュニケーション能力②自主的思考力③自主的行動力④基礎常識⑤基礎学力⑥情報収集力⑦情報整理・分析力⑧情報応用力⑨プレゼンテーション力
- 4) 内定を出す基準(学生評価)は昨年と比べてどのようなスタンスでしたか？ ①厳しくした ②昨年並み ③緩くした
- 5) 昨年の採用活動と比べ、今期の印象は？  
①昨年より厳しかった ②昨年並みに厳しかった ③昨年並みに楽だった ④昨年より楽だった
- 5-1) 上記で①・②と答えた企業について、その理由  
(a)採用活動早期化への対応(b)母集団の確保(c)セミナー動員(d)学生の質の低下(e)採用費用の削減(f)マンパワー不足
- 6) 内定を出す際の基準として重要視している要素は？  
①性格・人柄について②大学時代の成績について③アルバイト経験やサークル・クラブ活動について④特技について⑤苦労した経験について⑥会社に入って何が出来るか⑦語学やパソコンなどの具体的なスキルについて⑧その他
- 7) 院生・4大文理等の各採用活動状況について  
①採用終了・ほぼ終了 ②採用継続 ③未充足だが採用中止 ④採用なし
- 7-1) 上記で②と答えた企業について、(a)継続予定期間 (b)今後の採用方針 (c)新卒不充足時の対応について
- 8) 昨年に比べて内定辞退率の増減はいかがですか？
- 9) 昨年に比べて採用スタッフの増減はいかがですか？
- 10) 今期の新卒採用費用概算は？
- 11) 今年度、最初に採用情報を公開した時期と最初に採用情報を流した媒体は？
- 12) 今年度、最初にセミナーを開催した時期は？
- 13) 今年度、最初に内々定を出した時期は？
- 14) 今年度、学生のエントリーを受け付けた経路は？
- 15) 今年度、学生のセミナーエントリーを受け付けた経路は？
- 16) 採用のオープン化や多様化において、実施されている手法や形態について
- 17) 今年度、実施されている内定者フォローは？

【採用充足率】回答のあった全内定者数／全募集人数；片方しか記入のなかったデータは原則としてカウントしない

### ● 調査概要 ●

○調査名／「2002年内定状況及び採用活動に関するアンケート」

○調査方法／回答用紙を郵送、Faxにて返送

○調査期間／2002年7月18日(木)発送、8月2日(金)受付締切り

○アンケート送付対象／国内優良企業5,763社

○回答／906件 【回答の内訳①『上場・店頭公開企業』305社：『未上場企業』601社  
②『製造業』305社：『非製造業』601社】

○有効回答率／15.7%

○備考／～1999年までは10月実施。2000年より採用戦線の早期化を鑑み7月に変更。

# 採用充足率

調査時期を10月から8月に前倒しをして3年目の今年、採用充足率は全体で87.5%と昨年比で3.1%の上昇となった。【表1】  
 【採用充足率=回答のあった「全内定者数」/「全募集人数」;どちらか片方のみ記入のデータは原則としてカウントせず】

## ①上場・店頭公開/未上場企業 グループ

企業の採用力によってグループ内で充足率に開きがあった昨年より、若干ではあるがその差が縮まった。未上場企業が昨年比1.4%増、上場・店頭公開企業が昨年比0.6%減。しかし、依然として続く学生の大手・安定志向(2002年4月就職意識調査)を反映してか上場・店頭公開企業の充足率は9割を保った。

## ②製造業/非製造業 グループ

製造業の充足率が目立った昨年であったが、今年は非製造業の伸びが目立ち4.3%増。特に不問(学部・学科不問)と文系では製造業の充足率を上回る結果となった。製造業の採用枠縮小の影響で、非製造業では昨年より人数確保をしやすい傾向にあった模様。

ただし、充足率は上昇したものの採用学生の「質」に対する満足度は全体的に低下(「質・量とも満足」+「質は満足・量は不満」昨年比5.3%減)しており、厳選採用の中で人材確保に苦慮する企業の姿が窺える。【表4】

	2002年度充足率			2001年度充足率			2000年度充足率		
	募集人数(人)	内定者数(人)	充足率	募集人数	内定者数	充足率	募集人数	内定者数	充足率
全体(906社)	29,603	25,914	87.5%	37,990	32,061	84.4%	34,284	28,331	82.6%
大学院	1,577	1,505	95.4%	3,218	2,829	87.9%	4,789	3,597	75.1%
4大文系	13,918	12,594	90.5%	14,074	12,265	87.1%	16,667	15,180	91.1%
4大理系	4,110	3,307	80.5%	7,558	5,597	74.1%	9,358	6,980	74.6%
院+理系	5,137	4,163	81.0%	2,232	2,209	99.0%	—	—	—
短大	1,499	1,148	76.6%	1,743	1,063	61.0%	2,067	1,485	71.8%
専門学校	1,326	1,010	76.2%	1,088	851	78.2%	1,403	1,080	77.0%
不問	2,036	2,187	107.4%	8,077	7,247	89.7%	—	—	—

(01年有効回答数1053社、00年有効回答数1059社) 【表1】

## 上場・店頭公開:未上場グループ/製造業:非製造業グループ別充足率

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
	87.5%	昨年	90.8%	昨年	83.0%	昨年	91.2%	昨年	85.9%	昨年
全体	87.5%	84.4%	90.8%	91.4%	83.0%	81.6%	91.2%	89.5%	85.9%	81.6%
大学院	95.4%	87.9%	94.4%	94.9%	98.5%	74.4%	96.0%	95.7%	94.8%	71.1%
4大文系	90.5%	87.1%	93.3%	93.4%	87.5%	79.9%	89.7%	91.9%	90.7%	85.6%
4大理系	80.5%	74.1%	81.1%	84.0%	79.5%	62.6%	87.9%	80.0%	77.1%	67.3%
院+理系	81.0%	99.0%	85.2%	98.5%	73.3%	100.0%	92.3%	100.1%	62.5%	83.8%
短大	76.6%	61.0%	78.9%	67.3%	72.6%	56.9%	90.5%	70.4%	74.8%	58.5%
専門学校	76.2%	78.2%	74.1%	84.4%	77.1%	74.8%	80.3%	78.3%	75.3%	78.2%
不問	107.4%	89.7%	112.7%	95.3%	75.8%	84.1%	96.3%	92.6%	112.9%	89.2%

【表2】

## cf.採用充足率の推移(～1999年まで10月調査:2000年より8月に実施)

	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02
全体	—	—	—	—	—	—	88.8%	93.3%	82.6%	84.4%	87.5%
大学院生	—	90.9%	104.5%	102.2%	98.7%	86.2%	97.5%	93.0%	75.1%	87.9%	95.4%
4大文系	91.0%	98.4%	100.0%	99.0%	94.3%	97.5%	90.8%	97.7%	91.1%	87.2%	90.5%
4大理系	88.0%	88.6%	93.3%	85.9%	84.2%	86.0%	84.9%	90.0%	74.7%	74.2%	80.5%
院+理系	—	—	—	—	—	—	—	—	—	99.0%	81.0%
短大生	94.0%	96.3%	93.6%	95.4%	89.3%	86.9%	84.1%	83.0%	71.8%	61.1%	76.6%
専門学校生	96.0%	96.2%	94.9%	100.0%	85.1%	89.6%	87.7%	82.1%	77.0%	78.3%	76.2%
不問	—	—	—	—	—	—	—	—	—	89.7%	107.4%

【表3】

## 【参考】採用満足度

→「採用満足度」詳細は次ページ

【全体】	質・量とも満足		質は満足・量は不満		質は不満・量は満足		質・量とも不満		自己評価点	
	36.5%	昨年	26.9%	昨年	20.3%	昨年	16.4%	昨年	74.3	昨年
総合評価	36.5%	36.0%	26.9%	32.7%	20.3%	15.3%	16.4%	15.9%	74.3	75.0
大学院生	65.0%	60.1%	12.4%	23.9%	15.8%	9.5%	6.8%	6.5%	81.0	80.6
4大文系	34.5%	37.1%	25.9%	30.0%	23.7%	17.1%	16.0%	15.8%	72.5	73.0
4大理系	42.2%	37.4%	23.3%	33.4%	20.3%	13.0%	14.2%	16.2%	74.4	73.5

【表4】

# 採用満足度

年々下がっている採用満足度では、今年は「質」に対する満足度が低下した。（「質は不満・量は満足」が全カテゴリで増加、「質は満足・量は不満」が全カテゴリで減少。）【表1】

特に、上場・店頭公開企業グループで「質は不満・量は満足」とする回答が昨年比10.8%増と大きく上昇。厳選採用志向で優秀な学生の獲得を目指しながら、実際にはある程度質に不満でも量を確保せざるを得ない学生の二極化傾向の影響が浮き彫りとなった。

【表2】

また、大幅な人員削減から採用を抑制する企業の多かった製造業グループでも「質は不満（質は不満・量は満足+質・量とも不満）」とする企業が5%近く増加、充足率の上昇とは裏腹に、学生の優秀層確保が難しくなっている様子が窺える。【表4】

【全体】	質・量とも満足		質は満足・量は不満		質は不満・量は満足		質・量とも不満		自己評価点	
	36.5%	昨年 36.0%	26.9%	昨年 32.7%	20.3%	昨年 15.3%	16.4%	昨年 15.9%	74.3	昨年 75.0
総合評価										
大学院生	65.0%	60.1%	12.4%	23.9%	15.8%	9.5%	6.8%	6.5%	81.0	80.6
4大文系	34.5%	37.1%	25.9%	30.0%	23.7%	17.1%	16.0%	15.8%	72.5	73.0
4大理系	42.2%	37.4%	23.3%	33.4%	20.3%	13.0%	14.2%	16.2%	74.4	73.5
短大生	41.2%	40.5%	22.3%	22.8%	18.2%	15.9%	18.2%	20.7%	70.9	71.6
専門学校生	45.0%	42.9%	18.9%	20.6%	23.7%	19.7%	12.4%	16.7%	73.0	73.4

※自己評価点は、100を満点として採用担当者に自己評価していただいた数字です。

【表1】

【上場・店頭】	質・量とも満足		質は満足・量は不満		質は不満・量は満足		質・量とも不満		自己評価点	
	40.8%	昨年 42.7%	25.1%	昨年 32.7%	21.7%	昨年 10.9%	12.4%	昨年 13.7%	75.8	昨年 79.2
総合評価										
大学院生	63.2%	60.1%	12.5%	27.8%	16.4%	7.6%	7.9%	4.5%	81.2	80.9
4大文系	38.1%	43.2%	25.2%	26.5%	23.0%	15.1%	13.7%	15.1%	73.2	74.7
4大理系	44.5%	45.5%	20.9%	32.9%	23.0%	11.2%	11.5%	10.5%	75.9	77.0
短大生	46.4%	50.0%	19.6%	21.1%	14.3%	8.9%	19.6%	20.0%	74.3	75.3
専門学校生	50.0%	47.8%	16.7%	19.6%	16.7%	18.5%	16.7%	14.1%	74.5	76.1

【表2】

【未上場】	質・量とも満足		質は満足・量は不満		質は不満・量は満足		質・量とも不満		自己評価点	
	33.7%	昨年 31.1%	28.1%	昨年 32.7%	19.3%	昨年 18.6%	18.9%	昨年 17.6%	73.4	昨年 71.9
総合評価										
大学院生	67.5%	60.0%	12.3%	18.9%	14.9%	12.0%	5.3%	9.1%	80.7	80.2
4大文系	32.2%	32.8%	26.3%	32.4%	24.1%	18.5%	17.4%	16.3%	72.0	71.8
4大理系	40.3%	30.8%	25.2%	33.9%	18.1%	14.5%	16.4%	20.8%	73.2	70.6
短大生	38.0%	34.5%	23.9%	23.9%	20.7%	20.4%	17.4%	21.1%	68.9	69.1
専門学校生	42.6%	39.7%	20.0%	21.3%	27.0%	20.6%	10.4%	18.4%	72.3	71.7

【表3】

【製造業】	質・量とも満足		質は満足・量は不満		質は不満・量は満足		質・量とも不満		自己評価点	
	41.7%	昨年 43.1%	26.0%	昨年 29.2%	20.4%	昨年 16.3%	11.9%	昨年 11.4%	76.2	昨年 76.0
総合評価										
大学院生	61.3%	67.3%	15.3%	18.9%	17.3%	10.1%	6.0%	3.7%	81.3	81.4
4大文系	37.4%	43.6%	26.2%	26.6%	20.5%	16.7%	15.9%	13.1%	72.2	73.4
4大理系	44.5%	42.8%	20.9%	28.3%	23.0%	14.5%	11.5%	14.5%	76.3	74.9
短大生	60.6%	61.9%	12.1%	12.7%	18.2%	12.7%	9.1%	12.7%	77.7	76.5
専門学校生	54.3%	58.9%	11.4%	20.5%	25.7%	9.6%	8.6%	11.0%	77.9	78.3

【表4】

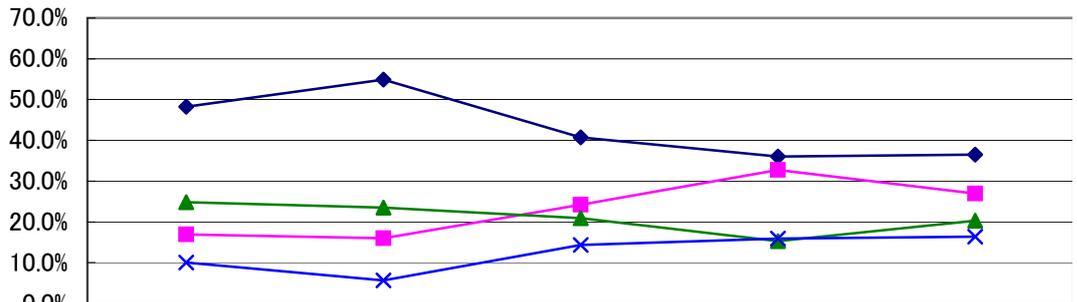
【非製造業】	質・量とも満足		質は満足・量は不満		質は不満・量は満足		質・量とも不満		自己評価点	
	33.8%	昨年 31.6%	27.4%	昨年 34.9%	20.2%	昨年 14.8%	18.6%	昨年 18.8%	73.3	昨年 74.3
総合評価										
大学院生	69.8%	51.4%	8.6%	29.8%	13.8%	8.8%	7.8%	9.9%	80.6	79.6
4大文系	33.0%	33.3%	25.8%	31.9%	25.3%	17.4%	16.0%	17.4%	72.6	72.8
4大理系	40.3%	32.4%	25.2%	38.1%	18.1%	11.7%	16.4%	17.7%	72.9	72.2
短大生	35.7%	32.5%	25.2%	26.6%	18.3%	17.2%	20.9%	23.7%	68.9	69.6
専門学校生	42.5%	35.6%	20.9%	20.6%	23.1%	24.4%	13.4%	19.4%	71.7	71.3

【表5】

# 採用満足度過去5年間の推移

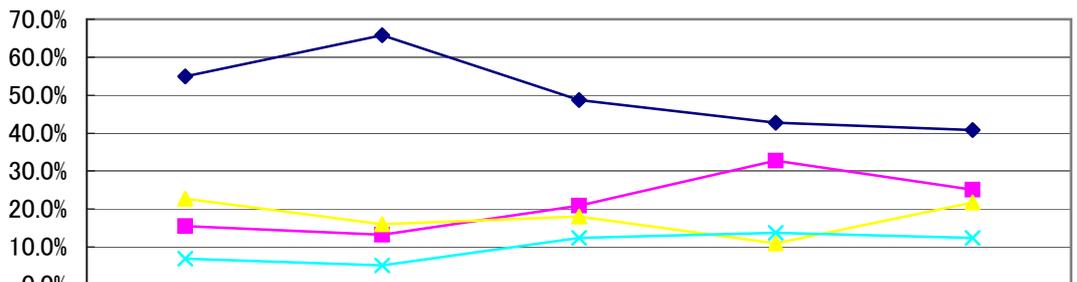
## 総合評価:全体

満足度  
【全体】



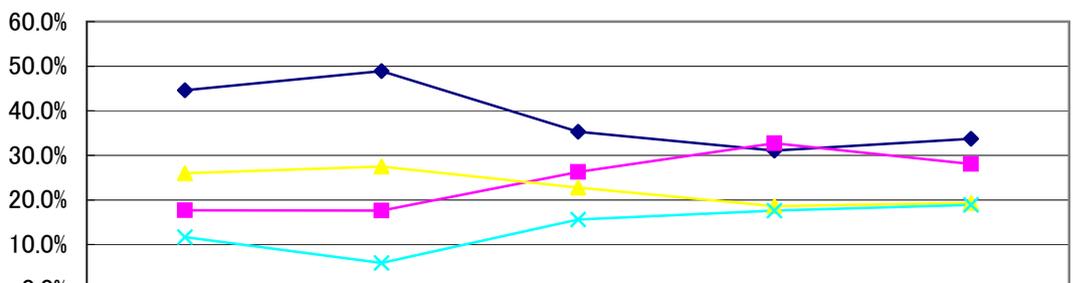
	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
◆ 質・量とも満足	48.2%	54.9%	40.7%	36.0%	36.5%
■ 質は満足・量は不満	16.9%	16.0%	24.2%	32.7%	26.9%
▲ 質は不満・量は満足	24.8%	23.5%	20.9%	15.3%	20.3%
× 質・量とも不満	10.0%	5.6%	14.3%	15.9%	16.4%

## 総合評価:上場・店頭公開企業グループ

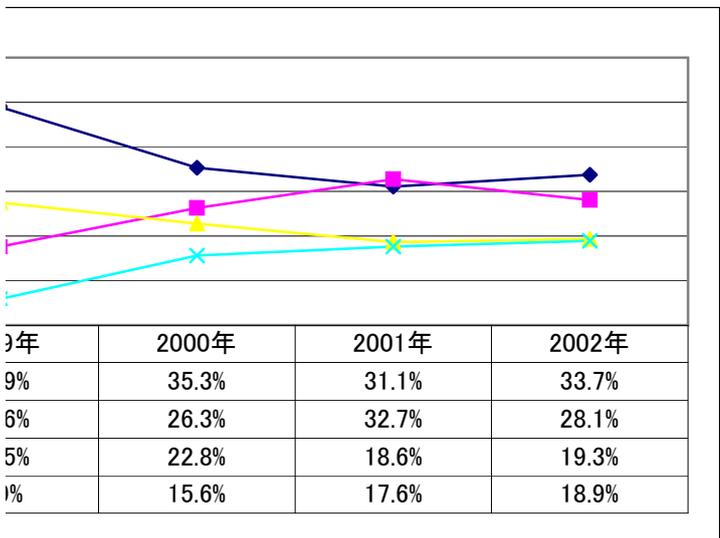
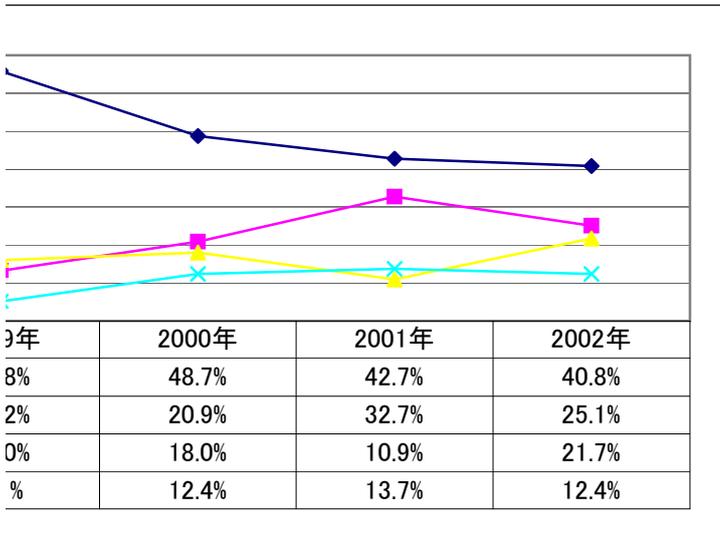
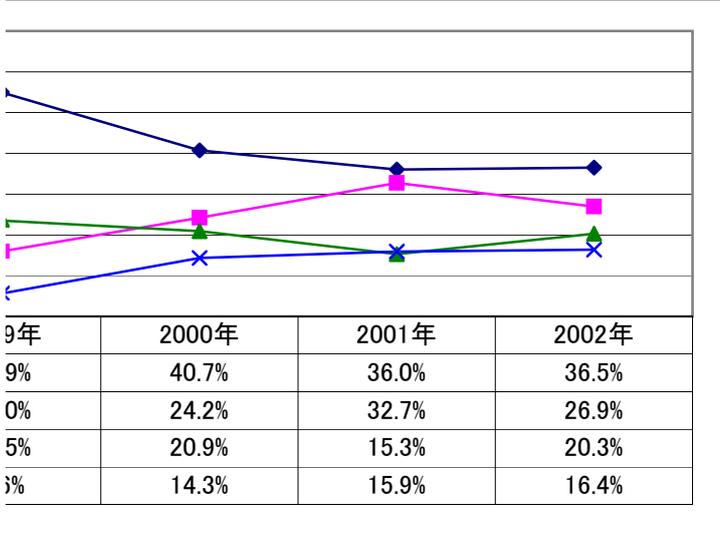


	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
◆ 質・量とも満足	54.9%	65.8%	48.7%	42.7%	40.8%
■ 質は満足・量は不満	15.5%	13.2%	20.9%	32.7%	25.1%
▲ 質は不満・量は満足	22.7%	16.0%	18.0%	10.9%	21.7%
× 質・量とも不満	6.9%	5.1%	12.4%	13.7%	12.4%

## 総合評価:未上場企業グループ



	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
◆ 質・量とも満足	44.6%	48.9%	35.3%	31.1%	33.7%
■ 質は満足・量は不満	17.7%	17.6%	26.3%	32.7%	28.1%
▲ 質は不満・量は満足	26.0%	27.5%	22.8%	18.6%	19.3%
× 質・量とも不満	11.7%	5.9%	15.6%	17.6%	18.9%



# 学生の印象

今期の学生の能力についてどんな印象を抱いているか、の質問を新設した。「コミュニケーション能力」が文系学生では最も高く5割を超えたが、理系では「最も低い」能力のトップに挙がった。一方、理系学生の最も高い能力は「基礎学力」という結果に。また、文理に共通して2番目に「高い」とされた「情報収集力」は、パソコンやインターネットの普及した情報化社会に育ち、培われた能力と言えよう。その反面「自主的思考力」、「自主的行動力」や「プレゼンテーション力」が不足、とされている。単に上手くコミュニケーションを取る・多くの情報を集めることに留まらず、それを主体的に咀嚼し、行動して自分の言葉で表現し得る能力のある学生が「企業の求める人材像」といえるのかもしれない。【表1・表2】

【高いと思った能力】

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
	文系	理系	文系	理系	文系	理系	文系	理系	文系	理系
コミュニケーション能力	51.9%	24.3%	55.9%	24.1%	49.6%	24.5%	55.5%	25.7%	50.3%	23.4%
自主的思考力	14.5%	25.4%	10.6%	25.4%	16.8%	25.4%	13.3%	25.3%	15.1%	25.5%
自主的行動力	30.3%	19.8%	32.1%	19.8%	29.3%	19.8%	33.0%	21.9%	29.1%	18.3%
基礎知識	12.6%	10.2%	10.6%	7.8%	13.8%	11.8%	9.2%	8.4%	14.1%	11.4%
基礎学力	22.8%	40.5%	21.5%	45.3%	23.6%	37.2%	17.4%	36.7%	25.2%	43.1%
情報収集力	37.2%	32.4%	38.1%	30.6%	36.7%	33.6%	37.6%	32.9%	37.0%	32.0%
情報整理・分析力	9.4%	25.4%	11.3%	26.3%	8.3%	24.8%	10.1%	23.2%	9.1%	27.0%
情報応用力	2.8%	6.1%	1.9%	4.7%	3.3%	7.1%	2.8%	4.2%	2.8%	7.5%
プレゼンテーション力	13.8%	9.6%	13.2%	9.1%	14.2%	10.0%	14.7%	13.5%	13.5%	6.9%

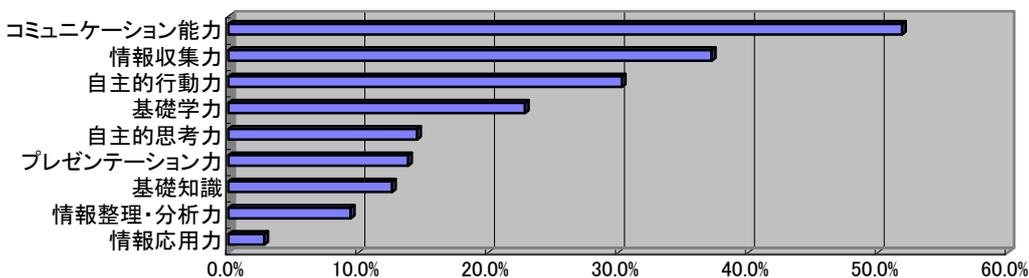
【表1】

【低いと思った能力】

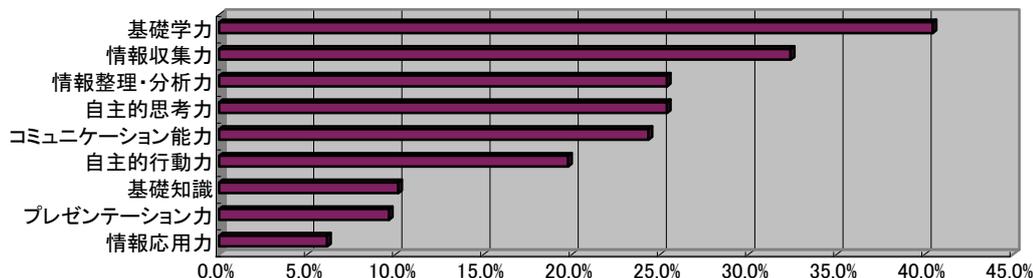
	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
	文系	理系	文系	理系	文系	理系	文系	理系	文系	理系
コミュニケーション能力	16.9%	40.6%	13.9%	42.7%	18.5%	39.3%	14.9%	42.9%	17.7%	38.9%
自主的思考力	31.1%	19.9%	36.5%	17.9%	28.2%	21.2%	34.0%	17.6%	29.9%	21.6%
自主的行動力	27.6%	33.2%	25.8%	37.2%	28.6%	30.7%	27.0%	34.3%	27.9%	32.3%
基礎知識	28.0%	22.9%	26.2%	22.9%	29.0%	22.9%	24.7%	20.6%	29.5%	24.6%
基礎学力	24.3%	19.2%	27.0%	16.5%	22.8%	20.9%	29.3%	21.9%	22.1%	17.4%
情報収集力	7.8%	9.9%	7.1%	11.5%	8.2%	8.9%	7.9%	12.5%	7.8%	8.1%
情報整理・分析力	16.2%	9.0%	15.1%	6.4%	16.8%	10.6%	14.9%	8.6%	16.7%	9.3%
情報応用力	24.6%	15.9%	28.2%	19.7%	22.6%	13.5%	26.1%	16.3%	23.9%	15.6%
プレゼンテーション力	19.4%	24.5%	14.7%	20.6%	21.9%	26.9%	15.4%	20.2%	21.1%	27.5%

【表2】

高いと思った能力：文系



高いと思った能力：理系



# 採用基準

企業の厳選採用傾向を反映して、すべてのグループで採用基準を「昨年より厳しくした」企業が「昨年より緩くした」企業を上回った。また、前述の「採用満足度」で質重視採用の傾向が顕著であった「上場・店頭公開企業グループ」、今年採用減の目立った「製造業グループ」で、採用基準を「厳しくした」割合の伸びが大きく10%を超えた。【表1】

【全体】	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製
		昨年		昨年		昨年		昨年	
昨年より基準を厳しくした	30.6%	19.7%	30.8%	17.1%	30.4%	21.6%	31.3%	18.3%	30.2%
昨年並み	66.2%	75.6%	67.4%	78.8%	65.5%	73.3%	66.8%	79.9%	65.9%
昨年より基準を緩くした	3.2%	4.7%	1.8%	4.1%	4.0%	5.2%	2.0%	1.8%	3.9%

【表1】

## 【参考：2002年2月実施採用予定調査時のアンケート結果】

	全体	上場・店頭公開	未上場	製造業	非製
厳しくする予定	27.9%	30.1%	26.6%	28.5%	27.1%
今年度並みにする予定	71.3%	68.6%	72.8%	71.2%	71.1%
緩くする予定	0.9%	1.4%	0.6%	0.4%	1.8%

【表2】

【院生】	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製
		昨年		昨年		昨年		昨年	
昨年より基準を厳しくした	27.1%	17.8%	31.8%	13.9%	21.5%	22.3%	36.8%	15.0%	17.6%
昨年並み	71.7%	79.6%	67.7%	84.4%	76.4%	73.8%	61.9%	83.6%	81.1%
昨年より基準を緩くした	1.3%	2.7%	0.6%	1.6%	2.1%	3.9%	1.3%	1.3%	1.3%

【表3】

【4大文系】	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製
		昨年		昨年		昨年		昨年	
昨年より基準を厳しくした	27.9%	20.4%	29.7%	15.8%	26.8%	23.8%	27.1%	19.3%	28.3%
昨年並み	68.4%	73.9%	67.8%	80.3%	68.8%	69.3%	70.0%	77.7%	67.6%
昨年より基準を緩くした	3.7%	5.7%	2.5%	3.9%	4.4%	6.9%	2.9%	3.0%	4.1%

【表4】

【4大理系】	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製
		昨年		昨年		昨年		昨年	
昨年より基準を厳しくした	28.5%	17.9%	32.7%	14.7%	25.6%	20.5%	34.5%	16.3%	24.1%
昨年並み	68.9%	77.7%	65.3%	82.1%	71.5%	74.1%	64.0%	81.2%	72.6%
昨年より基準を緩くした	2.5%	4.4%	2.0%	3.3%	2.9%	5.3%	1.5%	2.5%	3.3%

【表5】

【短大】	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製
		昨年		昨年		昨年		昨年	
昨年より基準を厳しくした	24.5%	18.4%	28.6%	15.5%	22.4%	20.2%	19.1%	15.5%	26.0%
昨年並み	69.7%	75.2%	68.3%	79.3%	70.4%	72.5%	76.2%	79.8%	67.8%
昨年より基準を緩くした	5.9%	6.5%	3.2%	5.2%	7.2%	7.3%	4.8%	4.8%	6.2%

【表6】

【専門学校】	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製
		昨年		昨年		昨年		昨年	
昨年より基準を厳しくした	28.3%	16.9%	26.6%	12.5%	29.1%	19.9%	19.6%	9.6%	30.8%
昨年並み	68.3%	76.9%	70.3%	83.0%	67.4%	72.7%	80.4%	86.8%	64.8%
昨年より基準を緩くした	3.4%	6.2%	3.1%	4.5%	3.6%	7.5%	0.0%	3.6%	4.4%

【表7】

を「昨年より厳しくした」企業が「昨年より緩くした」企業を上回った。  
「上場・店頭公開企業グループ」、今年採用減が目立った「製造業」が  
減った。【表1】

造業
昨年
20.5%
72.9%
6.6%

造業
.5%
.4%
1%

造業
昨年
20.5%
75.5%
4.0%

造業
昨年
21.1%
71.5%
7.3%

造業
昨年
19.3%
74.5%
6.2%

造業
昨年
19.5%
73.3%
7.1%

造業
昨年
20.0%
72.6%
7.4%

# 採用活動の印象

昨年の採用活動に比べて今期の印象はどうであったかを質問した。全体的に「昨年並みに厳しかった」、「昨年より厳しかった」など「厳しかった」とする企業が7割を超えた。【表1～5】  
 厳しかった理由としては「学生の質の低下」、「母集団の確保」が多く挙げられ、「未上場企業グループ」では前者、「上場・店頭企業グループ」では後者が5割を超えた。大量のエントリーがあっても、獲得したい採用ターゲット層の不足に悩んだ大手企業、また応募学生そのものの質低下を目の当たりにした企業の苦悩が窺える結果となった。【表6】

【全体】	昨年より厳しかった	昨年並みに厳しかった	昨年並みに楽だった	昨年より楽だった
総合評価	33.0%	43.7%	7.7%	15.7%
大学院生	22.1%	49.5%	12.9%	15.5%
4大文系	29.6%	48.2%	9.6%	12.6%
4大理系	30.3%	45.9%	9.5%	14.4%
短大生	21.8%	42.1%	21.8%	14.4%
専門学校生	24.4%	38.1%	21.0%	16.6%

【表1】

【上場・店頭】	昨年より厳しかった	昨年並みに厳しかった	昨年並みに楽だった	昨年より楽だった
総合評価	29.8%	47.2%	8.1%	14.9%
大学院生	24.4%	44.5%	13.4%	17.7%
4大文系	32.2%	47.6%	7.9%	12.3%
4大理系	26.8%	49.5%	7.9%	15.8%
短大生	20.0%	40.0%	24.6%	15.4%
専門学校生	27.4%	40.3%	17.7%	14.5%

【表2】

【未上場】	昨年より厳しかった	昨年並みに厳しかった	昨年並みに楽だった	昨年より楽だった
総合評価	34.9%	41.6%	7.4%	16.1%
大学院生	19.6%	54.9%	12.4%	13.1%
4大文系	28.1%	48.5%	10.6%	12.7%
4大理系	32.4%	43.6%	10.5%	13.5%
短大生	22.6%	43.1%	20.4%	13.9%
専門学校生	23.1%	37.1%	22.4%	17.5%

【表3】

【製造業】	昨年より厳しかった	昨年並みに厳しかった	昨年並みに楽だった	昨年より楽だった
総合評価	32.9%	41.4%	9.1%	16.7%
大学院生	19.6%	46.8%	17.7%	15.8%
4大文系	34.0%	43.2%	11.7%	11.2%
4大理系	24.4%	46.9%	12.9%	15.8%
短大生	14.9%	29.8%	42.6%	12.8%
専門学校生	22.9%	31.3%	35.4%	10.4%

【表4】

【非製造業】	昨年より厳しかった	昨年並みに厳しかった	昨年並みに楽だった	昨年より楽だった
総合評価	33.1%	44.8%	7.0%	15.2%
大学院生	24.5%	52.2%	8.2%	15.1%
4大文系	27.4%	50.8%	8.5%	13.3%
4大理系	34.7%	45.1%	6.9%	13.4%
短大生	23.9%	45.8%	15.5%	14.8%
専門学校生	24.8%	40.1%	16.6%	18.5%

【表5】

## 「(昨年より+昨年並みに)厳しかった」理由

	全体	上場・店頭	未上場	製造業	非製造業
採用活動早期化への対応	39.9%	40.6%	39.4%	42.2%	38.7%
母集団の確保	44.7%	51.5%	40.7%	48.1%	43.0%
セミナー動員	29.3%	22.3%	33.3%	25.2%	31.3%
学生の質の低下	50.3%	45.9%	52.9%	47.6%	51.7%
採用費用の削減	14.5%	16.2%	13.5%	11.7%	15.9%
マンパワーの不足	21.7%	28.4%	17.8%	23.8%	20.7%
その他	10.3%	13.1%	8.7%	10.7%	10.1%

【表6】

# 採用活動進捗状況

7月中旬での採用進捗状況は、「採用終了・ほぼ終了」との回答が動きの早い院生の78.6%を最高に、各カテゴリーで軒並み昨年より増加、採用活動の早期化がさらに進んでいることがわかる。【表1～表5】  
ただし、「上場・店頭公開企業グループ」と「未上場企業グループ」を比較すると、いずれも各カテゴリーの採用終了状況に大きな開きが出ている。【表1～5】 この結果は「採用充足率」【3P参照】・「採用満足度」【4P参照】と対応しており、今年度の採用が「大手企業」に利のあったことを裏付けている。

【院生：回答490社】	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
採用終了・ほぼ終了	78.6%	70.7%	83.3%	70.3%	74.6%	71.1%	84.9%	67.4%	74.2%	63.9%
採用継続	20.2%	27.6%	16.2%	28.1%	23.5%	27.2%	14.6%	16.6%	24.1%	34.6%
充足していないが採用中止	1.2%	1.7%	0.5%	1.6%	1.9%	1.7%	0.5%	1.6%	1.7%	1.5%

【表1】

【4大文系：回答777社】	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
採用終了・ほぼ終了	69.2%	63.0%	77.0%	68.8%	64.8%	58.9%	73.8%	69.8%	67.1%	59.0%
採用継続	27.7%	34.7%	21.6%	29.7%	31.1%	38.2%	23.0%	27.6%	29.9%	38.8%
充足していないが採用中止	3.1%	2.4%	1.4%	1.6%	4.0%	2.9%	3.2%	2.6%	3.0%	2.2%

【表2】

【4大理系：回答668社】	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
採用終了・ほぼ終了	70.1%	63.0%	77.2%	68.8%	65.9%	58.9%	74.0%	69.8%	67.6%	59.0%
採用継続	27.2%	34.7%	21.5%	29.7%	30.6%	38.2%	22.4%	27.6%	30.2%	38.8%
充足していないが採用中止	2.7%	2.4%	1.2%	1.6%	3.6%	2.9%	3.5%	2.6%	2.2%	2.2%

【表3】

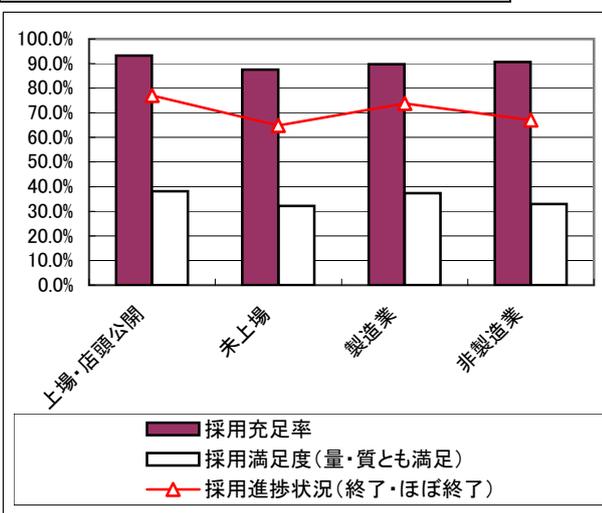
【短大：回答342社】	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
採用終了・ほぼ終了	65.5%	62.6%	71.4%	64.9%	62.3%	61.2%	73.4%	74.4%	63.1%	57.3%
採用継続	31.3%	33.2%	26.9%	30.9%	33.6%	34.6%	24.1%	20.3%	33.5%	39.0%
充足していないが採用中止	3.2%	4.2%	1.7%	4.2%	4.0%	4.2%	2.5%	5.3%	3.4%	3.7%

【表4】

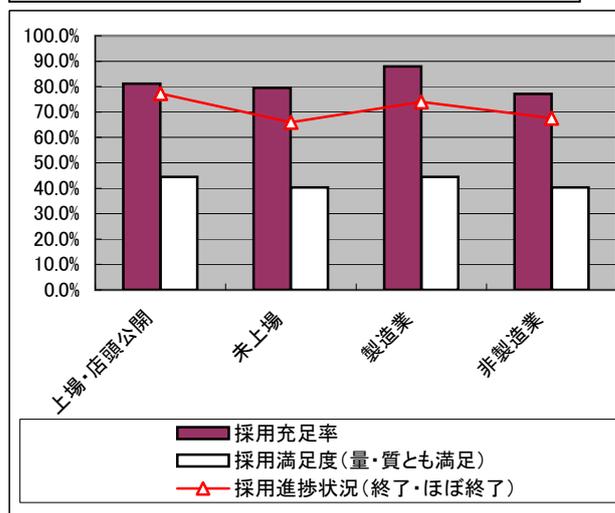
【専門学校：回答396社】	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
採用終了・ほぼ終了	64.5%	60.9%	70.1%	61.7%	61.8%	60.3%	68.3%	68.3%	57.4%	57.4%
採用継続	31.6%	36.1%	27.1%	35.1%	33.8%	36.8%	29.4%	29.4%	39.3%	39.3%
充足していないが採用中止	3.9%	3.0%	2.8%	3.3%	4.4%	2.9%	2.4%	2.4%	3.3%	3.3%

【表5】

4大文系の採用充足率・満足度・進捗状況



4大理系の採用充足率・満足度・進捗状況



## 今後の採用活動① — 継続予定時期 —

◆以下の設問【1】～【3】(10P～12P)は9ページで「採用継続中」と回答のあった企業からのみ、ご回答いただいています。

### 【1】採用活動をいつまで継続する予定ですか？

【院生:回答99社】	全体	上場・ 店頭公開	未上場	製造業	非製造業
8-9月末まで	42.7%	43.8%	42.0%	55.6%	36.4%
10-11月末まで	19.5%	15.6%	22.0%	11.1%	23.6%
年内一杯	30.5%	34.4%	28.0%	33.3%	29.1%
1-3月末まで	7.3%	6.3%	8.0%	0.0%	10.9%

【表1】

【4大文系:回答215社】	全体	上場・ 店頭公開	未上場	製造業	非製造業
8-9月末まで	55.5%	54.6%	55.9%	57.7%	54.6%
10-11月末まで	18.1%	18.2%	18.1%	15.4%	19.2%
年内一杯	18.7%	23.6%	16.5%	25.0%	16.2%
1-3月末まで	7.7%	3.6%	9.5%	1.9%	10.0%

【表2】

【4大理系:回答182社】	全体	上場・ 店頭公開	未上場	製造業	非製造業
8-9月末まで	51.3%	51.1%	51.4%	56.0%	49.0%
10-11月末まで	18.7%	13.3%	21.0%	20.0%	18.0%
年内一杯	19.3%	26.7%	16.2%	22.0%	18.0%
1-3月末まで	10.7%	8.9%	11.4%	2.0%	15.0%

【表3】

【短大:回答107社】	全体	上場・ 店頭公開	未上場	製造業	非製造業
8-9月末まで	44.3%	33.3%	49.1%	27.3%	47.1%
10-11月末まで	19.0%	16.7%	20.0%	27.3%	17.7%
年内一杯	24.1%	33.3%	20.0%	36.4%	22.1%
1-3月末まで	12.7%	16.7%	10.9%	9.1%	13.2%

【表4】

【専門学校:回答105社】	全体	上場・ 店頭公開	未上場	製造業	非製造業
8-9月末まで	44.2%	41.7%	45.2%	47.4%	43.3%
10-11月末まで	19.8%	12.5%	22.6%	26.3%	17.9%
年内一杯	22.1%	29.2%	19.4%	21.1%	22.4%
1-3月末まで	14.0%	16.7%	12.9%	5.3%	16.4%

【表5】

## 今後の採用活動② –採用スタンス–

◆以下の設問【1】～【3】(10P～12P)は9ページで「採用継続中」と回答のあった企業からのみ、ご回答いただいています。

### 【2】今後の採用において「質」と「量」に関する方針は？

【院生:回答99社】	全体	上場・ 店頭公開	未上場	製造業	非製造業
徹底して質を重視	53.7%	56.3%	52.0%	64.3%	48.2%
徹底して量を重視	1.2%	0.0%	2.0%	3.6%	0.0%
量よりは質を重視	32.9%	34.4%	32.0%	21.4%	38.9%
質よりは量を重視	7.3%	0.0%	12.0%	3.6%	9.3%
特定のスキルを重視	4.9%	9.4%	2.0%	7.1%	3.7%
特定の学校を重視	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【表1】

【4大文系:回答215社】	全体	上場・ 店頭公開	未上場	製造業	非製造業
徹底して質を重視	41.4%	45.5%	39.7%	53.7%	36.4%
徹底して量を重視	2.7%	1.8%	3.1%	3.7%	2.3%
量よりは質を重視	46.8%	47.3%	46.6%	33.3%	52.3%
質よりは量を重視	6.5%	1.8%	8.4%	3.7%	7.6%
特定のスキルを重視	2.7%	3.6%	2.3%	5.6%	1.5%
特定の学校を重視	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【表2】

【4大理系:回答182社】	全体	上場・ 店頭公開	未上場	製造業	非製造業
徹底して質を重視	42.8%	37.0%	45.3%	52.9%	37.6%
徹底して量を重視	2.0%	0.0%	2.8%	2.0%	2.0%
量よりは質を重視	41.5%	50.0%	37.7%	35.3%	44.6%
質よりは量を重視	8.6%	2.2%	11.3%	2.0%	11.9%
特定のスキルを重視	5.3%	10.9%	2.8%	7.8%	4.0%
特定の学校を重視	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【表3】

【短大:回答107社】	全体	上場・ 店頭公開	未上場	製造業	非製造業
徹底して質を重視	37.5%	44.0%	34.6%	45.5%	36.2%
徹底して量を重視	5.0%	0.0%	7.3%	9.1%	4.4%
量よりは質を重視	47.5%	52.0%	45.5%	27.3%	50.7%
質よりは量を重視	8.8%	0.0%	12.7%	9.1%	8.7%
特定のスキルを重視	1.3%	4.0%	0.0%	9.1%	0.0%
特定の学校を重視	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【表4】

【専門学校:回答105社】	全体	上場・ 店頭公開	未上場	製造業	非製造業
徹底して質を重視	37.7%	47.8%	33.9%	33.3%	38.8%
徹底して量を重視	2.4%	0.0%	3.2%	0.0%	3.0%
量よりは質を重視	42.4%	43.5%	41.9%	38.9%	43.3%
質よりは量を重視	8.2%	0.0%	11.3%	5.6%	9.0%
特定のスキルを重視	9.4%	8.7%	9.7%	22.2%	6.0%
特定の学校を重視	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【表5】

## 今後の採用活動③ – 不充足時の対応 –

◆以下の設問【1】～【3】(10P～12P)は9ページで「採用継続中」と回答のあった企業からのみ、ご回答いただいています。

### 【3】万一、新卒採用枠が充足しなかった場合の対応は？【複数回答】

【院生:回答99社】	全体	上場・店頭公開	未上場	製造業	非製造業
中途などの即戦力で補充	38.8%	53.1%	29.2%	35.7%	40.4%
新卒派遣で補充	3.8%	6.3%	2.1%	10.7%	0.0%
派遣社員で補充	3.8%	6.3%	2.1%	3.6%	3.9%
中途・派遣での補充は特に考えない	47.5%	31.3%	58.3%	39.3%	51.9%
次年度の新卒募集を増やして対応	13.8%	18.8%	10.4%	25.0%	7.7%

【表1】

【4大文系:回答215社】	全体	上場・店頭公開	未上場	製造業	非製造業
中途などの即戦力で補充	42.5%	52.7%	38.2%	38.9%	43.9%
新卒派遣で補充	3.2%	7.3%	1.5%	7.4%	1.5%
派遣社員で補充	5.9%	9.1%	4.6%	5.6%	6.1%
中途・派遣での補充は特に考えない	40.3%	29.1%	45.0%	38.9%	40.9%
次年度の新卒募集を増やして対応	19.4%	20.0%	19.1%	20.4%	18.9%

【表2】

【4大理系:回答182社】	全体	上場・店頭公開	未上場	製造業	非製造業
中途などの即戦力で補充	36.2%	50.0%	30.6%	33.3%	37.6%
新卒派遣で補充	4.0%	6.8%	2.8%	5.9%	3.0%
派遣社員で補充	5.9%	6.8%	5.6%	5.9%	5.9%
中途・派遣での補充は特に考えない	45.4%	27.3%	52.8%	45.1%	45.5%
次年度の新卒募集を増やして対応	20.4%	22.7%	19.4%	21.6%	19.8%

【表3】

【短大:回答107社】	全体	上場・店頭公開	未上場	製造業	非製造業
中途などの即戦力で補充	45.1%	64.0%	36.8%	33.3%	47.1%
新卒派遣で補充	3.7%	4.0%	3.5%	8.3%	2.9%
派遣社員で補充	13.4%	24.0%	8.8%	25.0%	11.4%
中途・派遣での補充は特に考えない	35.4%	20.0%	42.1%	33.3%	35.7%
次年度の新卒募集を増やして対応	18.3%	12.0%	21.1%	16.7%	18.6%

【表4】

【専門学校:回答105社】	全体	上場・店頭公開	未上場	製造業	非製造業
中途などの即戦力で補充	37.9%	58.3%	30.2%	26.3%	41.2%
新卒派遣で補充	4.6%	4.2%	4.8%	5.3%	4.4%
派遣社員で補充	9.2%	8.3%	9.5%	15.8%	7.4%
中途・派遣での補充は特に考えない	41.4%	25.0%	47.6%	42.1%	41.2%
次年度の新卒募集を増やして対応	17.2%	12.5%	19.1%	21.1%	16.2%

【表5】

# 内定辞退率の前年比増減

昨年に比べ、現時点での内定辞退率は？

	全体	上場・店頭公開	未上場	製造業	非製造業
大幅に減	9.5%	8.7%	10.0%	9.9%	9.4%
やや減	19.7%	19.9%	19.6%	13.9%	22.6%
変わらない	50.2%	46.0%	52.5%	55.1%	47.8%
やや増	16.0%	18.8%	14.5%	15.0%	16.5%
大幅に増	4.5%	6.6%	3.4%	6.2%	3.7%

【表1】

2000年より調査時期を従来の10月から8月に変更したため一概には言えないが、内定辞退率は求人倍率の数値と密接な関係を持つことが、過去5年間の推移からはっきりと見てとれる。【下図：「過去5年間の内定辞退増減と求人倍率」参照】当然とはいえ、求人倍率が高い年度は重複内定率が上がり、内定辞退が昨年より「やや増」「大幅に増」との回答が多くなる。

ただ、2001年から2002年にかけては求人倍率が若干の低下に留まったにもかかわらず、内定辞退の減少幅が大きい。低調な景況感や採用の抑制基調、採用活動の早期化・長期化などから、就職活動に対して疲労感・消耗感を持った学生の気運が影響しているのかもしれない。

【全体】	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
大幅に減	14.7%	16.0%	8.1%	6.8%	9.5%
やや減	24.5%	27.1%	16.5%	17.5%	19.7%
変わらない	47.2%	42.0%	50.3%	48.4%	50.2%
やや増	11.7%	12.4%	20.8%	22.6%	16.0%
大幅に増	1.9%	2.6%	4.3%	4.7%	4.5%

【表2】

【上場】	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
大幅に減	14.6%	11.9%	8.5%	5.4%	8.7%
やや減	21.4%	26.9%	18.4%	20.6%	19.9%
変わらない	50.0%	46.5%	48.4%	49.5%	46.0%
やや増	13.4%	13.1%	20.1%	20.9%	18.8%
大幅に増	0.6%	1.6%	4.5%	3.6%	6.6%

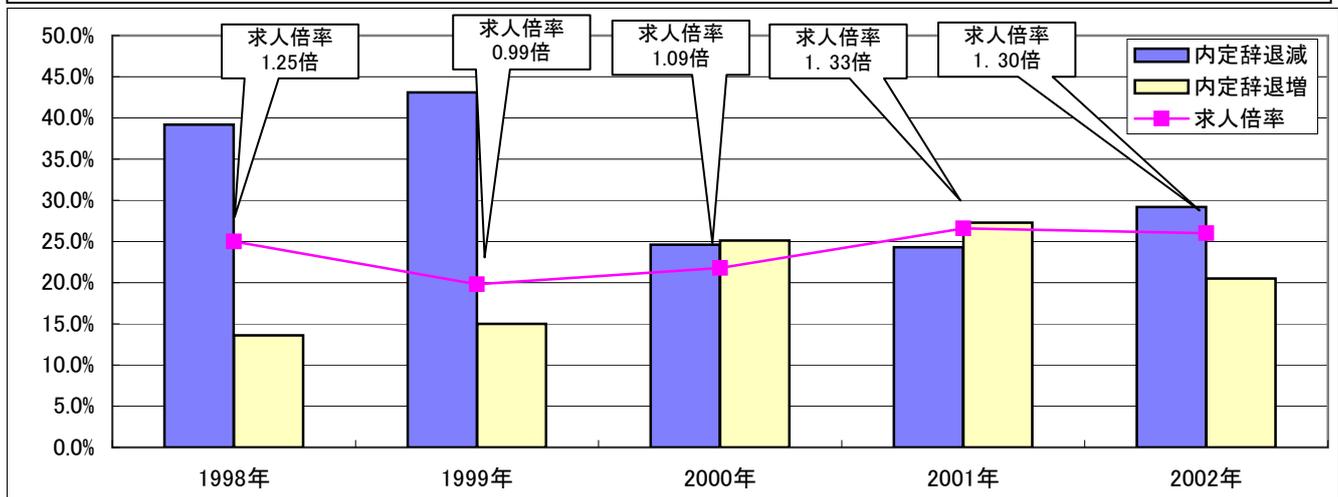
【表3】

【未上場】	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
大幅に減	14.8%	17.9%	7.9%	7.7%	10.0%
やや減	25.9%	27.1%	15.4%	15.4%	19.6%
変わらない	45.9%	39.9%	51.3%	47.6%	52.5%
やや増	10.9%	12.0%	21.2%	23.8%	14.5%
大幅に増	2.4%	3.1%	4.2%	5.4%	3.4%

【表4】

【全体】：過去5年間の内定辞退増減と求人倍率 【内定辞退減=大幅に減+やや減；内定辞退増=大幅に増+やや増】

※求人倍率：大卒求人倍率調査（リクルートワークス研究所調べ）より



# 採用費

【有効回答社数】

全体	上場・店頭公開	未上場	製造業	非製造業
619社	178社	441社	198社	421社

一昨年から昨年と1000万円台をキープしていた平均採用費は、今年度890.4万円と117.8万円(11.7%)の大幅なダウンとなった。グループ別に見ると「未上場企業グループ」では19.1%(134.2万円)、「非製造業グループ」では17.5%(178.2万円)の大幅削減で、過去10年間(非製造業は過去9年間)の最低値となった。一方、「上場・店頭公開企業グループ」では5.7%(91.6万円)、「製造業グループ」では0.7%(7.0万円)それぞれ増加している。近年、大手企業を中心にイベント型のオープンセミナー開催やコンピテンシーモデルの策定、採用業務のアウトソーシングなどエントリー後の業務拡充の動きが進んでおり、こうした部分への費用投資が大きくなっているようだ。【表1・表2】

また、すべてのグループでは採用に関する広告費が昨年に続き減少し、全体で-11.1%(61.1万円)となった。【表3】ここ数年で採用広告メディアの中心がインターネットに完全に移行、出稿費用の軽減が続いていることが要因といえよう。しかし、一方では今年度も学生の企業エントリー数が減少している。【表4】この結果、母集団生成・セミナー動員などターゲット層の確保に苦労した企業も多く、採用活動の厳しさや採用満足度の低下にもつながっている。【4P・8P参照】学生の二極化が進む中、優秀な人材にアプローチし得る有効なメディアや手法の工夫がさらに必要とされるだろう。

【採用費平均総額】

(単位:万円)

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
	今年	昨年	今年	昨年	今年	昨年	今年	昨年	今年	昨年
採用費平均総額	890.4	1008.2	1690	1598.4	567.7	701.9	1002.7	995.7	837.6	1015.8
採用費中の広告費総額	489.9	551.0	754.8	807.3	365.8	403.6	533.1	546.3	468.2	553.9

- 採用費・・・広告費の他、入社案内やホームページ・ダイレクトメールなどのツール作成費、DM発送費、セミナー運営費  
アウトソーシング費(データ処理・電話オペレーターなど)、資料発送費など、「採用経費」に含まれる費用総額
- 広告費・・・就職情報誌や就職情報サイト・新聞など、一般に公開される採用情報を掲載・出稿するための費用総額

【表1】

〈採用費平均総額の推移〉

(単位:万円)

	'92	'93	'94	'95	'96	'97
全体	1855.0	1242.2	869.5	915.2	873.3	908.6
上場・店頭公開	2868.0	2013.8	1467.3	1379.0	1513.3	1760.7
未上場	1558.0	1023.7	703.4	634.7	597.0	682.2
製造業	—	1310.8	877.4	964.9	854.8	983.5
非製造業	—	1193.4	864.1	871.6	887.2	865.7

	'98	'99	'00	'01	'02
全体	978.6	843.9	1060.7	1008.2	890.4
上場・店頭公開	1901.8	1641.7	1589.2	1598.4	1690
未上場	700.0	601.1	834.3	701.9	567.7
製造業	946.5	834.7	1054.3	995.7	1002.7
非製造業	997.3	848.4	1064.5	1015.8	837.6

【表2】

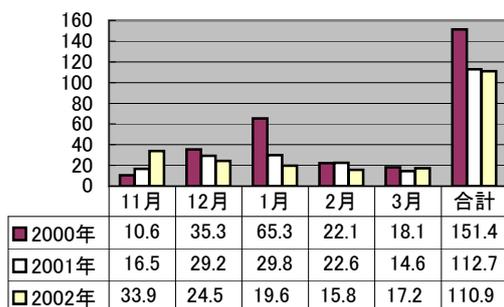
〈採用費中の広告費平均総額の推移〉

(単位:万円)

	'99	'00	'01	'02
全体	456.0	724.6	551.0	489.9
上場・店頭公開	758.7	1161.1	807.3	754.8
未上場	353.4	536.5	403.6	365.8
製造業	421.1	585.3	546.3	533.1
非製造業	476.1	804.6	553.9	468.2

【表3】

参考:学生のエントリー数('00年11月~'01年3月)  
【弊社モニターアンケートより】



【表4】

# 採用情報公開の時期とツール

## 【採用情報公開の時期】

6年前の就職協定廃止から年々早期化する採用活動だが、今年も若干の前倒し傾向となった。  
'01年以内に採用情報を公開した企業は全体の68.3%(昨年比1.0%増)で、特に「上場・店頭公開企業グループ」では84.4%(昨年比6.8%増)と、実に8割以上の企業が年内に採用情報の公開を行なったことがわかる。【表1】

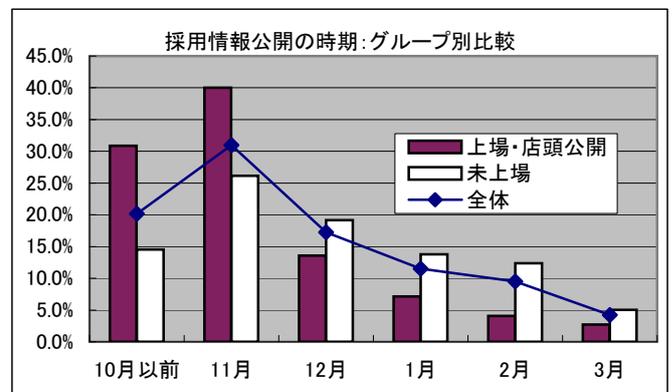
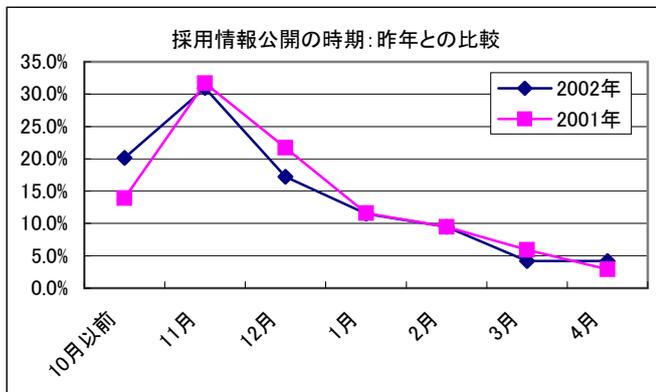
## 【採用情報公開ツール】

「情報公開に利用したツール」をみると「就職情報サイト」がトップで78.7%(昨年比5.3%増)。全カテゴリで昨年より増加、8割前後の企業が最初に情報を流すツールとして活用しており、各就職情報サイトのオープン時期が実質的な採用活動スタート、というスタイルが定着したといえるだろう。【表2】

## 【1】最初に採用情報を公開した時期

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
2001年10月以前	20.2%	13.9%	30.9%	19.5%	14.5%	10.3%	23.9%	13.5%	18.3%	14.2%
2001年11月	31.0%	31.7%	40.0%	36.8%	26.2%	28.3%	32.3%	32.1%	30.3%	31.4%
2001年12月	17.2%	21.7%	13.6%	21.3%	19.2%	22.0%	14.0%	24.1%	18.8%	20.2%
2002年1月	11.5%	11.6%	7.1%	8.3%	13.8%	13.8%	10.5%	9.6%	12.0%	12.9%
2002年2月	9.5%	9.5%	4.1%	5.8%	12.4%	11.9%	9.1%	8.6%	9.7%	10.0%
2002年3月	4.2%	5.9%	2.7%	4.3%	5.0%	7.0%	3.5%	5.7%	4.6%	6.1%
2002年4月	4.2%	2.9%	1.7%	1.3%	5.6%	3.9%	4.2%	3.6%	4.2%	2.4%
2002年5月	1.2%	1.9%	0.0%	2.0%	1.8%	1.8%	1.1%	2.3%	1.2%	1.6%
2002年6月	1.1%	0.8%	0.0%	1.0%	1.6%	0.7%	1.4%	0.3%	0.9%	1.1%

【表1】



## 【2】最初に採用情報を公開したツール

<複数回答>

	合計		上場・店頭公開		未公開		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
就職情報誌(宅配)	20.9%	27.4%	24.2%	33.4%	19.3%	23.6%	24.8%	23.5%	19.0%	29.9%
就職情報誌(市販)	5.8%	6.3%	7.5%	8.5%	4.9%	4.8%	5.2%	6.1%	6.1%	6.4%
インターネット(自社ホームページ)	57.7%	55.9%	60.2%	61.6%	56.4%	52.2%	56.6%	58.0%	58.3%	54.5%
インターネット(就職サイト)	78.7%	73.4%	86.7%	75.3%	74.6%	72.2%	80.7%	76.0%	77.7%	71.9%
郵送のDM	9.1%	13.4%	6.5%	12.5%	10.5%	14.0%	7.2%	12.9%	10.1%	13.7%
求人票	20.6%	19.9%	13.6%	15.5%	24.2%	22.8%	19.0%	21.0%	21.4%	19.2%
その他	2.1%	1.7%	0.7%	1.5%	2.8%	1.8%	0.7%	1.5%	2.8%	1.8%

【表2】

# セミナー開始次期/最初に内々定を出した時期

## 【1】採用に直結しないオープンセミナーを開始した時期

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
総サンプル数	906	1,053	305	416	601	637	305	403	601	650
本設問への回答数	195	217	81	97	114	120	53	86	142	131
オープンセミナー実施比率	21.5%	20.6%	26.6%	23.3%	19.0%	18.8%	17.4%	21.3%	23.6%	20.2%

【表1】

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
2001年10月以前	1.5%	0.9%	2.5%	2.1%	0.9%	0.0%	3.8%	1.2%	0.7%	0.8%
2001年11月	3.1%	2.3%	3.7%	3.1%	2.6%	1.7%	1.9%	2.3%	3.5%	2.3%
2001年12月	15.9%	5.1%	23.5%	7.2%	10.5%	3.3%	17.0%	2.3%	15.5%	6.9%
2002年1月	7.2%	7.8%	9.9%	7.2%	5.3%	8.3%	5.7%	10.5%	7.8%	6.1%
2002年2月	46.2%	47.9%	39.5%	53.6%	50.9%	43.3%	50.9%	47.7%	44.4%	48.1%
2002年3月	18.0%	24.4%	19.8%	17.5%	16.7%	30.0%	15.1%	23.3%	19.0%	25.2%
2002年4月	4.1%	4.2%	0.0%	5.2%	7.0%	3.3%	0.0%	7.0%	5.6%	2.3%
2002年5月	2.6%	5.1%	0.0%	3.1%	4.4%	6.7%	5.7%	3.5%	1.4%	6.1%
2002年6月	1.0%	1.8%	1.2%	1.0%	0.9%	2.5%	0.0%	1.2%	1.4%	2.3%
2002年7月	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.9%	0.8%	0.0%	1.2%	0.7%	0.0%

【表2】

## 【2】採用に直結するセミナーを開始した時期

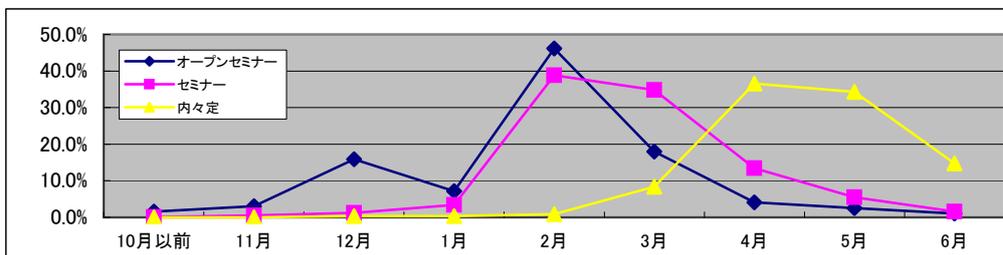
	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
2000年10月以前	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.4%	0.3%	0.0%	0.0%
2000年11月	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.8%	0.4%	0.4%	0.0%	0.6%	0.4%
2000年12月	1.2%	0.5%	2.7%	0.9%	0.4%	0.2%	2.3%	1.2%	0.6%	0.0%
2001年1月	3.4%	3.0%	2.7%	2.9%	3.8%	3.1%	2.7%	2.1%	3.8%	3.6%
2001年2月	38.8%	31.4%	38.4%	31.3%	39.0%	31.4%	31.3%	26.6%	42.6%	34.3%
2001年3月	34.8%	38.2%	42.3%	43.3%	31.0%	34.9%	41.4%	40.4%	31.5%	36.8%
2001年4月	13.5%	17.4%	10.1%	16.2%	15.2%	18.1%	12.9%	18.0%	13.8%	17.0%
2001年5月	5.5%	5.8%	3.5%	2.9%	6.6%	7.8%	6.3%	7.4%	5.2%	4.9%
2001年6月	1.6%	2.6%	0.4%	2.3%	2.2%	2.8%	1.6%	3.2%	1.6%	2.2%
2001年7月	0.5%	0.8%	0.0%	0.3%	0.8%	1.1%	0.8%	0.6%	0.4%	0.9%

【表3】

## 【3】最初に内々定を出した時期

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
2000年12月	0.4%	0.3%	0.7%	0.8%	0.2%	0.0%	0.7%	0.8%	0.2%	0.0%
2001年1月	0.4%	0.5%	0.0%	0.5%	0.6%	0.5%	1.1%	0.3%	0.0%	0.6%
2001年2月	0.8%	1.0%	1.0%	1.0%	0.7%	1.0%	1.1%	1.6%	0.7%	0.6%
2001年3月	8.4%	6.7%	11.2%	7.9%	6.9%	5.9%	6.5%	8.2%	9.4%	5.8%
2001年4月	36.5%	30.4%	47.8%	37.8%	30.4%	25.7%	35.5%	28.2%	37.1%	31.8%
2001年5月	34.3%	38.0%	27.8%	38.8%	37.8%	37.6%	33.7%	39.1%	34.5%	37.4%
2001年6月	14.8%	17.2%	9.8%	10.7%	17.5%	21.4%	16.5%	16.8%	13.9%	17.5%
2001年7月	4.3%	5.5%	1.4%	2.3%	6.0%	7.6%	4.7%	4.8%	4.2%	5.9%
2001年8月	0.1%	0.2%	0.3%	0.3%	0.0%	0.2%	0.4%	0.3%	0.0%	0.2%

【表4】



# 学生からのエントリー受付け経路

エントリーを受付ける経路では、今年も全カテゴリで9割以上の企業がインターネットを利用。「上場・店頭公開企業グループ」では98.7%と、ほぼ全ての企業が利用している。また、セミナーのエントリーに関しても昨年同様に8割を超えている。【表1・表3】  
また、「インターネットのみでエントリー受付」が全体で50.4%(昨年比+14.5%)、「インターネットのみでセミナーエントリー受付」が46.9%(昨年比+13.3%)と、エントリー経路をインターネットに絞る企業がさらに増加している。「上場・店頭公開企業グループ」では、ほぼ6割がセミナー予約をインターネットのみで受付ており、インターネットは就職活動に不可欠なツールといえよう。【表2・表4】

## 【1】学生からのエントリー受付け経路

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
インターネット	93.9%	92.2%	98.7%	94.5%	91.4%	90.7%	95.5%	91.6%	93.0%	92.6%
ハガキ(封書)	34.3%	51.9%	29.2%	48.8%	37.0%	54.0%	30.9%	49.7%	36.1%	53.3%
電話	31.6%	38.1%	19.1%	26.1%	38.1%	45.9%	28.9%	35.5%	32.9%	39.7%

【表1】

### ◆受付け経路がインターネットのみの企業比率

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
	50.4%	35.9%	61.7%	44.5%	44.4%	30.2%	51.9%	35.2%	49.7%	36.3%

【表2】

### ◆受付け経路がハガキ(封書)のみの企業比率

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
	2.1%	2.1%	0.3%	1.7%	3.0%	2.3%	0.7%	2.0%	2.8%	2.1%

【表3】

### ◆受付け経路が電話のみの企業比率

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
	2.3%	2.2%	0.3%	1.5%	3.4%	2.6%	3.1%	3.1%	1.9%	1.6%

【表4】

## 【2】学生からのセミナーエントリー受付け経路

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
インターネット	85.7%	81.1%	91.6%	82.3%	82.6%	80.4%	85.7%	80.0%	85.7%	81.8%
ハガキ(封書)	19.4%	30.9%	11.9%	20.8%	23.4%	37.4%	13.6%	23.7%	22.4%	35.5%
電話	46.8%	57.1%	36.2%	51.8%	52.3%	60.6%	45.4%	58.4%	47.5%	56.3%

【表5】

### ◆受付け経路がインターネットのみの企業比率

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
	46.9%	33.6%	59.9%	42.7%	40.0%	27.7%	49.6%	34.2%	45.5%	33.2%

【表6】

### ◆受付け経路がハガキ(封書)のみの企業比率

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
	2.0%	2.6%	0.7%	1.8%	2.7%	3.0%	1.4%	1.6%	2.3%	3.2%

【表7】

### ◆受付け経路が電話のみの企業比率

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
	10.2%	12.3%	7.0%	13.8%	11.9%	11.4%	11.1%	15.5%	9.7%	10.3%

【表8】

# 導入している採用手法・形態

今年は全般的に大幅な増減はなく、全カテゴリで増えたのが「学校名不問」で44.7%（昨年比4.7%増）のみとなった。昨年過半数を超えた「エントリーシート」は、「上場・店頭公開企業グループ」以外のグループで若干の減少。また、昨年は大きく伸びた「コンピテンシーに基づく採用」も、「上場・店頭公開企業グループ」と「製造業グループ」で微増、「未上場企業グループ」と「非製造業グループ」で減少するなど、グループによって採用手法の導入に濃淡が見られた。【表1】

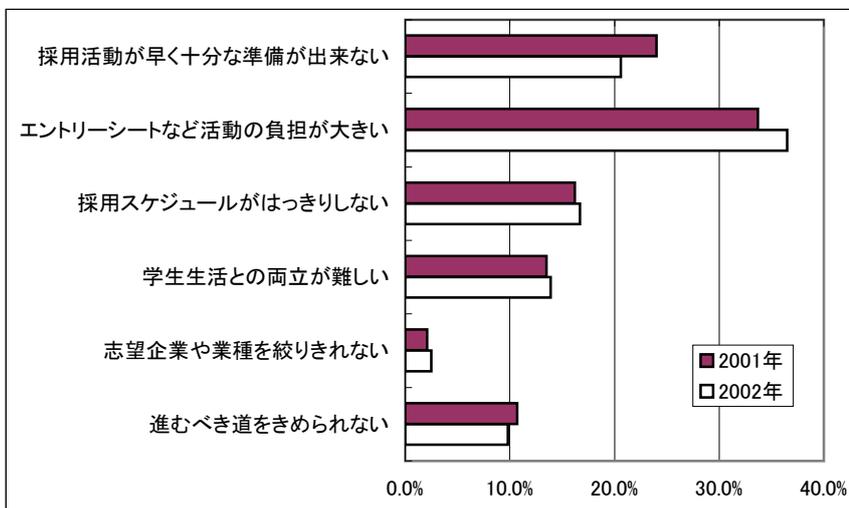
昨年は学生のエントリー数が大きく減少した企業が多く、今期の母集団生成では絞り込みを緩めた企業もあったようだ。しかし、大手企業を中心に鮮明となっている「質重視採用」傾向が強くなればなるほど、学生の選別に様々な手法・形態が必要となるといえるだろう。それに比例してか、学生側は昨年以上に「エントリーシートの負担が大きい」という声が高まっており、第一志望群企業のエントリーシートを入手しても「提出しなかった企業がある」学生が6割近くに及んでいる。【表2・表3】

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
エントリーシート	54.4%	56.6%	65.2%	65.0%	48.3%	50.6%	58.6%	62.0%	52.2%	53.1%
学校名不問	44.7%	40.0%	38.6%	37.9%	48.1%	41.4%	32.7%	28.4%	50.9%	47.5%
職種別採用	32.7%	32.9%	31.8%	31.9%	33.1%	33.7%	39.0%	40.4%	29.3%	28.0%
採用に直結しないオープンセミナー	20.4%	20.6%	23.9%	23.3%	18.4%	18.8%	17.5%	21.3%	21.8%	20.2%
体験型インターンシップの受け入れ	12.0%	13.7%	15.5%	15.7%	10.0%	12.2%	17.1%	16.8%	9.4%	11.6%
コンピテンシーに基づく採用	7.8%	9.0%	13.6%	13.4%	4.5%	5.9%	8.4%	7.5%	7.5%	10.1%
外国人留学生採用	6.7%	8.9%	11.0%	10.3%	4.3%	8.0%	7.2%	11.7%	6.4%	7.1%
新卒・中途卒の撤廃	2.9%	3.7%	1.9%	2.9%	3.4%	4.3%	1.6%	1.5%	3.5%	5.1%
採用直結型インターンシップ	2.1%	2.1%	3.0%	0.9%	1.5%	3.1%	1.6%	0.9%	2.3%	3.0%
スキル等による初任給調整	0.8%	0.8%	0.4%	0.9%	1.1%	0.8%	0.8%	1.2%	0.8%	0.6%
その他	1.9%	2.6%	1.9%	3.7%	1.9%	1.8%	2.0%	3.6%	1.9%	2.0%

【表1】

## 【参考】：学生の就職活動状況 【弊社モニターアンケートより】

### 【就職活動上の不安や不満：2月モニターアンケート】

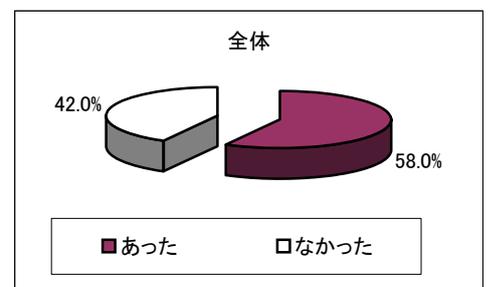


【表2】

### 【エントリーシートについて：

4月モニターアンケート】

◆「入手した第1志望企業群のエントリーシートで提出しなかったものはあるか？」



【表3】

# 内定者フォロー

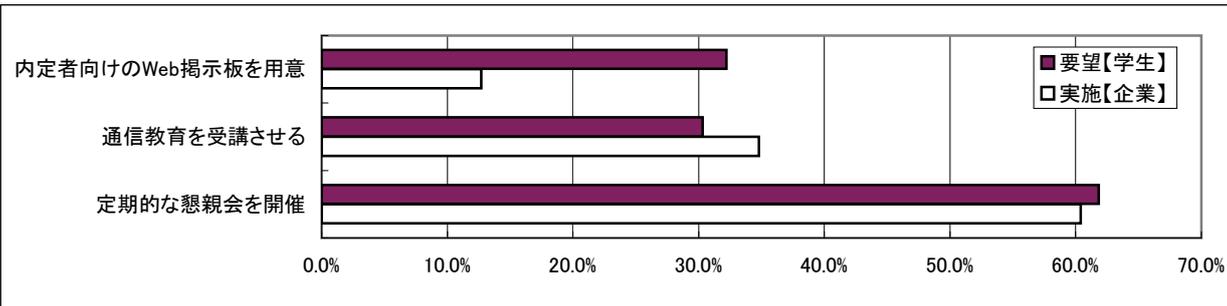
内定者フォローについては、大半の企業が定期的な懇親会や連絡で学生とのコミュニケーションを図っているようだ。定期連絡の方法が、昨年以上に電話からE-mailに推移している状況も浮き彫りとなった。「内定者向けのWeb掲示板」は、全体で12.7%の企業が導入しており、全カテゴリで増加。「上場・店頭公開企業グループ」では21.3%と、昨年より倍増した。【表1】

しかし、企業が実施している内定者フォローと学生が望む内定者フォロー【弊社モニターアンケートより】を対比すると、上位項目の中で、「内定者向けのWeb掲示板」への対応にはまだ開きがある。情報収集・コミュニティツールとしてインターネットを活用することが日常化している学生にとって、時間的・金銭的負担が少なく気楽に全国の内定者とコミュニケーションが取れるWeb掲示板は利用価値が高いといえよう。企業側にとっても手間やコストが比較的かからない「内定者Web」の導入は、今後も増えていくと予想される。【表2～4】

## ◆今年度実施している内定者フォロー

	全体		上場・店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
定期的な懇親会を開催	60.4%	56.7%	61.7%	60.9%	59.6%	53.9%	42.8%	47.3%	69.3%	62.4%
人事より定期的に連絡(E-mail)	53.9%	50.0%	59.7%	53.8%	50.7%	47.4%	58.7%	52.4%	51.5%	48.5%
通信教育を受講させる	34.8%	33.9%	46.7%	38.1%	28.2%	31.1%	39.9%	34.8%	32.1%	33.3%
人事より定期的に連絡(電話)	26.6%	28.3%	19.0%	25.4%	30.7%	30.3%	19.8%	24.5%	30.0%	30.7%
その他	15.6%	17.6%	18.0%	18.3%	14.3%	17.1%	20.9%	21.5%	12.9%	15.2%
内定者向けのWeb掲示板を用意	12.7%	7.6%	21.3%	10.2%	8.0%	6.0%	11.7%	8.8%	13.3%	7.0%
グループワークなどの課題を設定	8.6%	6.6%	7.7%	5.8%	9.1%	7.2%	6.4%	4.5%	9.7%	7.9%
OB・OGを活用してフォロー	8.2%	8.8%	11.3%	13.5%	6.5%	5.8%	8.1%	8.5%	8.3%	9.1%
e-learning	4.4%	—	8.0%	—	2.4%	—	4.2%	—	4.5%	—
専門学校等に通わせる	0.6%	0.9%	1.0%	0.8%	0.4%	1.0%	0.4%	1.1%	0.7%	0.8%

【表1】



【表2】

【参考】: 学生側から見た内定者フォロー 【弊社モニターアンケートより】

## 【今度どのような内定者フォローを受けたいか? : 7月モニターアンケート】

	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
食事会	61.8%	67.5%	53.6%	65.3%	53.9%
勉強会	34.6%	37.7%	36.4%	30.7%	40.5%
内定者専用Webサイトで情報交換	32.2%	21.9%	29.1%	32.5%	48.3%
通信教育(郵送形式)	30.3%	33.3%	25.5%	27.7%	40.5%
旅行(宿泊有)	23.0%	29.8%	28.2%	22.3%	10.1%
e-learning形式(Web上)の通信教育	18.7%	21.1%	18.2%	17.9%	19.1%
旅行(宿泊無)	10.9%	11.4%	7.3%	12.8%	9.0%
その他	3.1%	0.9%	3.6%	3.7%	3.4%

【表3】

## 【内定者の集まり(懇親会等)はどのくらいの頻度での開催が望ましいか? : 7月モニターアンケート】

	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
出来るだけ多い方が良い	15.1%	24.8%	8.2%	17.1%	5.6%
毎月1回程度	30.8%	31.0%	27.3%	29.5%	38.9%
2ヶ月に1回程度	32.8%	25.7%	37.3%	32.4%	37.8%
3ヶ月に1回程度	9.4%	12.4%	12.7%	7.6%	6.7%
あまり集まりたくない	11.9%	6.2%	14.6%	13.5%	11.1%

【表4】